

グループ名 ・代表者名	特定非営利活動法人 OurPlanetTV 代表理事 白石草	助成金額	30 万円
連絡先など	http://www.ourplanet-tv.org tel:03-32-96-2720		
助成のテーマ	原発事故をメディアはどう伝えたか？		

【取り組みの概要】 (調査研究・研修のねらい・手法・成果など)

- ・ NHK、NTV、TBS、CX、ANB、TX まで地上波キー局全てに関し、3月11日から7日間の映像データ全てを収集。
- ・ (1) 緊急事態をどう伝えたか？ (3月11日 14時46分～19時台)、(2) 避難指示をどう伝えたか？ (3月11日 19時台～12日早朝) (3) メルトダウンと1号機爆発をどう伝えたか？ (3月12日)
- ・ (4) 被曝リスクをどう伝えたか？ (3月14日、15日) の4つの視点で検証を行なった
- ・ 市民に重要な情報を伝えなかった、あるいは、誤解を与えるような誤った情報を提供した典型的な 10本の映像をピックアップし、4時間の検証番組「徹底検証！テレビは原発事故をどう伝えたか？」を制作した。

【実施の経過】 (取り組みの具体的な経過：主要な出来事のみ)

- 2011年6月：一橋大学生の学生とともにメディア接触調査
- 10月：高木基金中間報告にて、テレビ検証のニーズを受け計画変更
 - 11月：検証番組を企画
 - 12月：テレビ番組映像の収集
- 2012年2月：著作権問題に関する検討 (知的財産専門の法律家)
- 3月：朝日ニュースターでの番組が直前に中止
 - 4月：インターネットにて4時間の番組を配信

問題となっている場所の地図あるいは写真など (あれば)



【今後の展望など】

- ・ 同番組は、日本ジャーナリズム会議賞 (JCJ 賞) を受賞するなど評価を受けているが、テレビ各局に対する謝罪や今後の改善につなげるところまでいたっていない。
- ・ 国会事故調査委員会の報告書によると、事故後、避難者の多くがマスメディアの情報に頼っていたことが検証されている。しかし、その情報に大きな誤りがあったことを社会的に明らかにする必要があり、被害者、市民による PBO への苦情申し立てなどが必要。
- ・ 当時、いかに正しい情報が報道されていなかったを検証するために、東京電力のテレビ会議映像と当時の報道を並立させての分析が必要となる。そのためにもテレビ会議映像の一般公開が必要となる。

会計報告書の概要 (金額単位：千円)			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の助成金を充当	他の助成金等を充当	自己資金
旅費、交通費	都内交通費 (タクシー代含む)	12,000	12,000		
資料費	図書資料費、コピー代	34,000	34,000		
機材・備品費	スタジオ、機材レンタル費、ハードディスク費	123,000	123,000		
会議費	打ち合せ会議室代など	23,000	20,000		3,000
印刷費	DVD 作成費など	53,000	53,000		
協力者謝礼など	カメラマン及び技術スタッフなど	80,000	50,000		30,000
人件費	映像の文字おこし、編集人件費	250,000	0		250,000
その他	フリップ、小道具代など	8,000	8,000		
合 計		583,000	300,000		283,000

参考文献 (ウェブサイトや書籍、成果物など)

- ・ 徹底検証！テレビは原発事故をどう伝えたか？ <http://www.ourplanet-tv.or/?q=node/1343>
- ・ 「メディアをつくる～「小さな声」を伝えるために」(岩波書店) 白石草著

<参考図書>

- ・ テレビは原発事故をどう伝えたのか (平凡社新書) 伊藤 守
- ・ NHK独り勝ちの功罪 (ベスト新書) 小田桐 誠
- ・ DAYS JAPAN (デイズ ジャパン) 増刊 検証原発事故報道～あの時伝えられたこと

検証！テレビは原発事故をどう伝えたか

OurPlanetTV白石草

はじめに

日本におけるメディア制度の特殊性

- * 独立行政委員会がない
 - * クロスメディア規制がない
 - * パブリックアクセスがない
 - * 記者クラブがある
 - * 広告会社が寡占状態
- 情報がきちんと出ない原因



経過

- 2011年11月企画
- 2012年12～映像収集開始
- 1月 映像全体入手
- 2月 朝日ニュースターで放送決定
(番組の方針企画・日程確定)
- 2月 弁護士と著作権について相談
- 3月 朝日ニュースターで放送中止
- 4月 インターネットで番組を配信
- 8月 JCJ賞受賞

4つの視点～命との関わり

- 1、緊急事態をどう伝えたか？
- 2、避難指示をどう伝えたか？
- 3、1号機爆発をどう伝えたか？
- 4、被曝リスクをどう伝えたか？

地震後の原発報道

- 日本テレビ 14:59 女川原発
- テレビ東京 15:07 女川原発
- テレビ朝日 15:08 女川原発
- TBS 15:18 福島第一原発
- フジテレビ 15:31 女川原発
- NHK 16:30 福島第一原発

NHKの報道

- 16:30 交流電源喪失(10条通報)
- 16:55 菅総理大臣会見
「放射性物質等の影響なし」
- 17:35 ディーゼル電源喪失(15条通報)
- 19:46 枝野官房長官会見
テロップ「原子力緊急事態を宣言
最悪の事態に備え万全を期す構え」

11日の動き

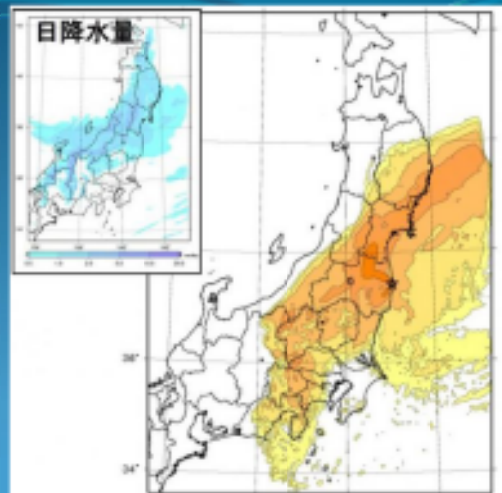
- 14:46 地震発生
- 15:20 福島第一原発に津波到達
- 15:37 緊急災害対策本部
- 15:42 全交流電源喪失(10条通報)
- 16:36 ディーゼル電源喪失(15条通報)
- 19:03 原子力緊急事態宣言
- 20:50 福島県が2キロ圏避難指示
- 21:23 政府が3キロ圏避難指示

12日の動き

- 05:44 避難指示を10キロ圏に拡大
- 07:11 菅総理が福島第一原発に到着
- 10:17 ベント開始
- 13:45 保安院会見・中村審議官「炉心溶融」
- 15:28 保安院会見「圧力低下=ベント成功」
- 15:36 1号機爆発
- 18:25 避難指示を20キロ圏に拡大
- 20:20 海水注入開始

1号機の爆発を伝えた時刻

- 爆発時刻 15:36
- TBS 15:39
- 福島中央テレビ 15:40
- 日本テレビ 16:50
- フジテレビ 16:51
- NHK 16:52
- テレビ朝日 17:05



-平成23年9月6日
(独)日本原子力研究開発機構

13日～15日の動き

- 13日 10:48 正門で1.015mSv/h
- 17:20 保安院「3号機爆発の可能性」
- 14日 11:01 3号機爆発
- 21:42 敷地内で3.1mSv/h
- 15日 05:26 事故対策統合本部
- 06:10 2号機で爆発
- 06:14 4号機で爆発
- 08:30 敷地内で8.218mSv/h
- 10:22 3号機付近で400mSv/h
- 16日 17:55 枝野長官「ただちに人体に影響ない」

まとめ

- 緊急事態にどのような放送をしていたか、テレビ局も自らの検証が必要
- より幅広い研究者でメディアの検証委員会を組織するなどの必要性(早稲田大学伊藤先生ほか)
- 著作権をめぐる争いは起きておらず、今後も同種の検証番組がインターネットのみならず、映画やテレビでも実施される必要
- 市民もテレビ局への追及を行なう必要がある (BPOへの苦情申し立て)
- たねまきジャーナル打ち切りのような現象に対するかウンター必要
- 東電テレビ会議映像などへの市民のアクセス

メディア政策の転換

- 独立行政委員会の設置
 - 総務省からの分離／独立
 - 政治からの独立／中立性
 - 市民の参画
- ハード・ソフトの水平分離
 - メディアの新規参入の促進
- パブリックアクセスの実施
 - 市民への電波の開放
 - 特にNHK教育帯域／ラジオ

徹底検証！テレビは原発事故をどう伝えたか？
<http://www.ourplanet-tv.org/?q=node/1341>

- 参考文献
- テレビは原発事故をどう伝えたのか (平凡社新書) 伊藤 守
- NHK独り勝ちの功罪 (ベスト新書) 小田桐誠
- DAYS JAPAN (デイズ ジャパン) 増刊
検証原発事故報道~あの時伝えられたこと
- メディアをつくる~「小さな声」を伝えるために (岩波書店) 白石草